

青葉区明るい選挙推進作文コンクール 2022 特集！



全受賞作品はHPに
掲載しています！

応募校数:10校

応募数:261作品

受賞者数:10名

【受賞者一覧】

賞	題名	学校名	入賞者氏名
青葉区明るい選挙推進協議会 会長賞	私達の未来は私達の手で	山内中	巻嶋 沙来さん
青葉区選挙管理委員会 委員長賞	動けば変わる	鴨志田中	我妻 椿さん
青葉区長賞	投票率から知る社会	もえぎ野中	高田 理央さん
えら坊賞(佳作)	僕が行きたい投票	美しが丘中	中村 響人さん
	選挙に行くきっかけ	あざみ野中	小堀 充奈さん
	選挙でよりよい日本へ	山内中	山本 結衣さん
	投票率を上げるために ～選挙の現状～	もえぎ野中	浦野 真樹さん
	選挙で伝える私の願い	もえぎ野中	平井 碧さん
	投票率をみんなで上げる 選挙の問題点	もえぎ野中	馬原 陽翔さん 高野 玄樹さん

3年ぶりの青葉区明推協研修会！

12月6日(火)に研修会を実施しました。

38名もの推進委員・推進員の皆様にご参加いただき、統一地方選挙を前に、「政治活動と選挙運動」について学びました。また、「効果的な啓発活動」についてグループワークを行い、非常に活気ある研修会となりました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました！



編集後記

3年ぶりの研修会のリアル開催や区民まつりの参加等、コロナ禍で中止となっていた啓発事業が続々と再開されました。任期最終年に、推進員の皆様とお会いできる機会が増え、嬉しく感じております。2年間ありがとうございました。

あおばイコット通信
令和5年3月号

<編集・発行>
青葉区明るい選挙推進協議会

<事務局>
青葉区総務課統計選挙係
TEL:978-2205

令和5年3月号 青葉区明るい選挙推進協議会の「今」をお届け！



あおばイコット通信 No.77

☆せんきょフォーラムを実施しました！

☆えら坊がやってきた

☆青葉区明るい選挙推進作文コンクール 2022 特集！

☆3年ぶりの青葉区明推協研修会を開催しました。

「せんきょフォーラム」を実施しました！

↓立候補者による演説



今年度は全2校で「せんきょフォーラム」を実施しました。7月の参議院議員選挙の影響もあり、非常に関心が高く、登校時間に選挙運動をしたり、演説会に向けて資料作成したりと積極的な活動を行いました。



→模擬投票



えら坊がやってきた！！

ついに！青葉区の選挙マスコットキャラクター

「えら坊」がぬいぐるみになりました！！

ぜひ、窓口まで観に来てください！

今後は、様々なイベントに参加します！

イコット Jr もいるよ！



青葉区明るい選挙推進協議会会長賞

「私達の未来は私達の手で」

山内中学校三年 巻嶋 沙来さん



今年七月、参議院選挙が行われた。選挙前には、選挙カーから候補者の声が聞こえてきたり、全国のニュースでは、「民主主義」という言葉を何度も耳にした。選挙も民主主義の意味も私の頭の中で漠然としていたが、今回作文を書くにあたって、改めて考えてみようと思った。

私の持っている参考書から「民主主義」の意味を調べると、国のあり方を決める権利は国民が持っている、また、選挙によって国民の意見が反映されると書かれていた。選挙が正しく行われて民主主義が成り立つのだとわかった。私は、一部の権力者が支配する国ではなく、民主主義で良かったと思う。民主主義を守り続けていくためにも、私たちは代表を決めることをしっかり考え、選挙権を持ったら投票に行くべきだと思った。

だが、日本は選挙と言えば若者の投票率の低さが問題視されている。実際、今回の参議院選挙での投票率は全体で五二・〇パーセント、十代は三四・四九パーセントと十代の有権者の半数以上は投票していないことになる。大事な選挙権を放棄している人が多いが、この現状を変える対策はないだろうか。

以前、ノルウェーの選挙についてテレビで観たことを思い出した。ノルウェーでは選挙が近づくと、選挙小屋やスタンドが並び、そこへ老若男女が訪れ、候補者と気軽に話をしていた。特に印象的だったのは、小学生たちが「ノルウェーの石油問題についてどう思いますか。」等と質問し、皆それぞれ意見を持っていることだった。さらに、候補者も相手を子ども扱いせず、しっかり意見を述べていた。相手の意見を真剣に聞き、それを否定せずに議論し、自分の意見を深めていくやり取りに感心した。ノルウェーの選挙を見て、自分達が参加しないと自分達の未来はないのだ、という考え方を小さい頃から身につけることが大事だと思った。日本の小学校も参考にしてみてもいいだろうか。まずは、身近な自分達の住む横浜市について、より暮らしやすい場所にするにはどうしたらいいか、じっくり考えることから始めてみるのもいいと思う。具体的に自分で考えると同じ意見の候補者がいるだろうか、という関心に繋がるかもしれない。

また、高校ではその対策の一つとも言える「公共」という科目が今年度から始まった。世の中の出来事、問題について討論したり、実際の選挙をイメージするため、模擬投票を実施したりすることもある様だ。これらによって、自ら投票するという意志が強まることにつながるだろう。

単に投票率が上がればいいというわけではない。選挙権を持つまでにしっかりと準備をし、政治を自分事として考えることに重きを置くべきだと思う。

私自身は選挙権を得るまであと三年程だ。国の流れに何となく身を任せて生きていくのではなく、自分が投票という形で参加し、明るい未来を望みたいと思う。

青葉区選挙管理委員会委員長賞

動けば変わる

鴨志田中学校三年 我妻 椿さん

「私だったら誰に投票するかな・・・。」
私は今年、初めて選挙会場へ行った。外の候補者ポスターの前で親を待ちながら、ぼんやりと自分が投票するイメージをしていた。

投票する人はどのように選ぶのだろうか。ポスターは抽象的な言葉が多く、真剣に選ぶには情報が足りない気がする。今、日本が抱えている一番の問題は何だろう。そもそも投票すれば本当に国はより良くなるのだろうか。

考えれば考えるほど自分がいかに政治について知らないかが分かった。きつと私のように政治に詳しくない若者が投票に自信を持たず、だんだん選挙への興味を無くしてしまっているのだろうか。でも、知識さえあれば投票するようになるのだろうか。

私は若者の政治参加について色々調べた。投票率が八割を下回ったことがないデンマークは、特に若者の政治への関心が高い。デンマークの若者になぜ政治参加をするのかを聞くと、「動けば変わるから。」と返ってくる。投票することは自分たちの生活にプラスになるという考え方が浸透しているのだ。対して、七月に行われた日本の参議院選挙の投票率は五二・〇パーセント。投票に行かなかった若者はその理由に、「どうせ変わらないから。」と話していた。実際に私の周りの大人も、投票には行ったが「結局前と同じだろう。」と言っていた覚えがある。確かに選挙は社会をより良くするための大切な機会だ。私たちは変化を求めている。投票率が低いのは日本政府が変わらないせいなのか。

それは違う。デンマークの人々の考え方を言い換えれば、「動かなければ変わらない。」私たちは今の生活に不満や意見を少なからず持つっていて、政府に改善を求めている。ただ、行動する前から「どうせ」と諦めているだけだ。まずは、自分が感じる生きづらさの改善に一番つながりそうな人に投票する。はじめは知識よりも自分の考えを持つことが必要だ。そして、投票という行動を起こすことで社会は徐々に変わっていくだろう。だが、「たかが自分の一票で変わるわけがない。」と思う人もいるだろう。しかし、十人がそう思ったら十票、百人だったら百票だ。みんな平等に一票持っているからこそ、始めから諦める考えは広まってほしくないと思う。一票一票の積み重ねが選挙の結果だ。社会を変えたいと思うなら、その思いを一票という形にしよう。

私はまだ有権者ではない。でも私ももっと行動に移すべきだと反省した。学校は小さな社会のようで、「こうなったらいいな。」と思う場面はたくさんあるが、私も思うだけで終わっていた。いきなり大人に話す勇氣はないけれど、友達なら話せるから、意見を共有したり別の案に気づいたりできるはずだ。今の私にもできることはある。だから三年後までに、考えたら行動してみる事を身につけたい。自分たちが生きやすい未来は自分たちにしかつくれないから。



青葉区長賞

投票率から知る社会

もえぎ野中学校一年 高田 理央さん



今年の七月にあった参議院議員選挙で、母の友人が市ヶ尾の駅前でチラシを配っているのを見かけた。一生懸命な姿に少し驚き、自宅に帰ってそのことについて母に聞いてみた。「○○ちゃんは△△党を応援しているんだよ。」とのことだった。母にも応援している政党があるのか聞いてみたら、今は特にないと返事だった。しかし選挙の応援でウグイス嬢をしたことがあり、議員事務所が主催する「国会探訪」に行き、その時はそれらの議員さんの政党を応援していたようだ。母は政治には興味があるようで、夕飯時が午後七時にかかる、いつも「ニュース、ニュース！」とテレビのチャンネルを変えさせられる。私はまだ政治がよく分からないが、今年の七月の参議院選挙で投票率という言葉がなぜだか頭に残ったので、それについて調べようと思った。

まず、投票率とは何か、ブリタニカ国際大百科辞典からの解説によると以下のように言っている。「選挙において何%の有権者が投票したかを示す指標。実際に投票した者の総数を有権者全体の数で割って百を掛けたもの。国民の政治参加の程度を示すものであり、投票率が国民の選挙への関心度を示す。ただし選挙への関心とは別に、天気の良い日は投票率が高いように、他の要因にも左右される。また、オーストラリアのような義務投票制の国では当然投票率は高く（約九〇%）なり、自ら登録しないと投票できないアメリカでは約五十五%と低くなる。日本は任意投票制で、約七十%となっている。」難しい言葉が並んでいるので、母に簡単に解説してもらった。選挙権のある満十八歳以上の人が、政治を行う議員、市長、知事、国会議員などを選ぶために選挙に行き、選挙権を持つ人の中でのくらいの割合の人が選挙に行ったか、それが投票率で分かり、国民の選挙、つまり政治への関心度が分かるとのことだった。しかし、天気や他の要因でも左右されるとは、びっくりだ。他の要因というのが、例えば選挙前の予期せぬ事件、事故もそうだと聞き、安倍元首相が銃に撃たれて亡くなったことを思い出した。

投票率が高い方が良く、低いと良くない、政治に興味がない大人が多い、こういうことなんだと思った。それはどうしてなのか、政治に興味を持たないといけないのか、それすらまだ分からない。また母が口をはさんできた、「平和ボケ！」ロシアのウクライナ侵略は他人事ではない。海外から侵略される。百年後は日本人がいなくなってしまおうとか。大げさに感じ、少し怖くなった。選挙、投票率、政治。これから中学、高校で学んでいくのが待ちきれなくなった。

最後に、令和四年参議院選挙の青葉区の投票率は、神奈川県五十八の開票区のうちなんと第九位、五十八%だった。県内では上位のほうだったのでうれしくなった。私も十八歳になったら積極的に選挙に行って社会に貢献し、選挙の大切さを広めたいと思う。

統一地方選挙 期日前投票所のお知らせ

- 投票は公共交通機関でお越してください。
- 区役所駐車場は大変混雑します。
- 山内地区センターに駐車場はありません。
- 青葉台東急スクエアでは4月**8日(土)**は投票できません。



投票日
4/9(日)
7時~20時

↓青葉区の期日前投票所

期日前投票所	投票期間 (土・日曜を含む)	投票時間
青葉区役所 1階 区民ホール	4月1日(土)から 4月8日(土)まで ※県知事選挙のみ 3月24日(金)から投票可能	8時30分から 20時00分まで
山内地区センター 1階 レクリエーションホール	4月1日(土)から 4月8日(土)まで	9時30分から 20時00分まで
青葉台東急スクエア South-1 本館 5階 多目的ホール	4月 5日(水) 6日(木) 7日(金)	9時30分から 20時00分まで